

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

（分担研究報告書）

将来に亘って持続可能ながん情報提供と相談支援の体制の確立に関する研究

研究分担者 河野 浩二 福島県立医科大学 消化管外科 主任教授

研究要旨

各学会が提供するがん診療ガイドラインは、医療従事者に対する有用な情報として確立している。特に、日本癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ [jsco-cpg.jp](http://jsco-cpg.jp)」は、医療従事者に対する有効な情報を提供し、ガイドラインに伴うアウトカムの改善などが認められている。今後は、より一層のガイドラインの成熟化への方向性と、患者さんと家族の側からのわかりやすい情報の構築が必要である。

A. 研究目的

将来に亘って持続可能ながん情報提供と相談支援の体制確立に向け、急速に多様化するがん情報ニーズに迅速かつ正確対応するため All Japan ”でのがん情報提供体制あり方を提言すること。

B. 研究方法

癌治療学会が提供するがん診療ガイドラインの情報の質の評価と、利用頻度、アウトカムの評価などを行った。

（倫理面への配慮）

倫理的な面での対応は必要ない内容である

C. 研究結果

日本癌治療学会は、「がん診療ガイドラインホームページ [jsco-cpg.jp](http://jsco-cpg.jp)」事業を運営し、臓器横断的な学会として、診療ガイドライン公開事業で、貢献を果たしてきた。ここ数年で爆発的にアクセスが増加し、現在1万件/日以上アクセスを記録している。その利用者は、医療従事者利用が88%で、患者さんの利用は少ない。医療従事者としては、医師と薬剤師が各30%強の利用であった。

D. 考察

日本癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ [jsco-cpg.jp](http://jsco-cpg.jp)」は、医療従事者に対する有効な情報を提供している。今後は、ガイドラインに伴うアウトカム検証など、より一層のガイドラインの成熟化への方向性を目指す。

E. 結論

各学会が提供するがん診療ガイドラインは、医療従事者に対する有用な情報として確立している。特に、日本癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ [jsco-cpg.jp](http://jsco-cpg.jp)」は、医療従事者に対する有効な情報を提供し、ガイドラインに伴うアウトカムの改善などが認められている。今後は、より一層のガイドラインの成熟化への方向性と、患者さんと家族の側からのわかりやすい情報の構築が必要である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Sakamoto W, Ohki S, Kikuchi T, Okayama H, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. Higher modified Glasgow Prognostic Score and multiple stapler firings for rectal transection are risk factors for anastomotic leakage after low anterior resection in rectal cancer. Fukushima J Med Sci. 2020 Feb 18. doi: 10.5387/fms.2019-17. [Epub ahead of print]
2. Wataru Sakamoto, Leo Yamada, Osamu Suzuki, Tomohiro Kikuchi, Hirokazu Okayama, Hisahito Endo, Shotaro Fujita, Motonobu Saito, Tomoyuki Momma, Zenichiro Saze, Shinji Ohki, and Koji Kono. Microanatomy of inferior mesenteric artery sheath in colorectal cancer surgery. J Anus Rectum Colon 2019,3:167-174
3. Ujiie D, Okayama H, Saito K, Ashizawa M, Thar Min AK, Endo E, Kase K, Yamada L, Kikuchi T, Hanayama H, Fujita S, Sakamoto W, Endo H, Saito M, Mimura K, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. KRT17 as a prognostic biomarker for stage II colorectal cancer. Carcinogenesis 2019 Nov 22. pii: bgz192. Doi
4. Kikuchi T, Mimura K, Okayama H, Nakayama Y, Saito K, Yamada L, Endo E, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. A subset of patients with MSS/MSI-low-colorectal cancer showed increased CD8 (+) TILs together with up-regulation of IFN-gamma; as seen in MSI-high-colorectal cancer. Oncology Letters 2019 Dec;18(6):5977-5985.

doi: 10.3892/ol.2019.10953. Epub 2019 Oct 2.

5. Kikuchi T, Mimura K, Ashizawa M, Okayama H, Endo E, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Shimada K, Yoshimura K, Tsunoda T, Kono K. Characterization of tumor-infiltrating immune cells in relation to microbiota in colorectal cancers. Cancer Immunol Immunother. 2020 Jan;69(1):23-32. doi: 10.1007/s00262-019-02433-6. Epub 2019 Nov 26

2. 学会発表

河野浩二 「がん診療ガイドラインホームページ jsco-cpg.jp の運営とアクセス状況」  
第 57 回日本癌治療学会シンポジウム 2019 年 10 月 25 日

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 2. 実用新案登録 3. その他  
なし